

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

平成22年度における総検査頭数は81,837頭で、畜種別内訳は、牛は7,582頭(和牛1,962頭、乳牛5,620頭)、豚は74,241頭、とく5頭、めん羊6頭、山羊2頭、馬1頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛32頭、豚306頭であった。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、と体の一部を廃棄するなどの処分をした総頭数は31,941頭(総検査頭数の39.0%)であった。

ア 禁止

と殺禁止した獣畜はなかった。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は122頭で、畜種別では牛90頭、豚32頭であった。原因別では、豚丹毒2頭、膿毒症28頭、敗血症10頭、尿毒症6頭、高度の黄疸2頭、高度の水腫48頭、牛白血病19頭、全身性の筋肉変性7頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、31,819頭で、畜種別では牛4,507頭(処分率59.4%)、とく3頭(60%)、豚27,308頭(36.8%)、めん羊1頭(16.7%)であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があるなど、何らかの疾病が疑われた719頭の病畜を検査したが、畜種別では、牛710頭(98.7%)、とく3頭(0.4%)、豚6頭(0.8%)であった。

検査の結果全部廃棄処分したものは83頭(牛81頭、豚2頭)であり、畜種別の全部廃棄率としては牛11.4%、豚33.3%であった。

(4) TSE (BSE) スクリーニング検査

平成13年10月18日から、牛全頭に対してBSE(牛海綿状脳症)スクリーニング検査を開始し、平成17年10月1日からは、めん羊・山羊についても検査対象を拡げてTSE(伝染性海綿状脳症)スクリーニング検査を実施している。平成22年度の検査頭数は7,595頭(牛7,582頭、とく5頭、めん羊6頭、山羊2頭)であり、検査結果は全て陰性であった。

(5) と畜検査の詳細

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	計						
4	7,190	198	459	657	1	1	6,530	1		21
5	5,935	191	450	641			5,294			18
6	6,771	149	416	565		2	6,204			22
7	7,077	190	478	668			6,409			21
8	6,653	151	503	654			5,999			22
9	6,298	167	491	658			5,640			20
10	6,875	148	483	631			6,242	2		20
11	7,358	187	525	712		1	6,644		1	20
12	7,325	176	500	676			6,648		1	19
1	6,866	129	435	564			6,301	1		19
2	6,431	119	422	541			5,889	1		19
3	7,058	157	458	615		1	6,441	1		22
22年度合計	81,837	1,962	5,620	7,582	1	5	74,241	6	2	243
21年度合計	81,590	2,280	5,442	7,722	0	4	73,848	12	4	241
前年度比(%)	100.3%	86.1%	103.3%	98.2%	-	125.0%	100.5%	50.0%	50.0%	100.8%

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	計					
4	50	6	43	49		1			
5	58	4	52	56			2		
6	46	4	40	44		1	1		
7	57	6	50	56			1		
8	81	3	78	81					
9	86	6	78	84			2		
10	71	5	66	71					
11	55	4	50	54		1			
12	54	5	49	54					
1	54	4	50	54					
2	45	5	40	45					
3	62	11	51	62					
22年度合計	719	63	647	710	0	3	6	0	0
21年度合計	727	67	646	713	0	3	11	0	0

ウ 産地別搬入頭数

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥取市	741		1	1 633		
岩美町	10			561		
八頭町	322					
若桜町	84			20		
智頭町	27					
(東部地区計)	1,184	0	1	2,214	0	0
倉吉市	587			2,823		
湯梨浜町						
三朝町	79					
北栄町	464		1	5,311		
琴浦町	4,006		2	20 189		
(中部地区計)	5,136	0	3	28 323	0	0
米子市	30	1		3	1	1
境港市				9		1
南部町	88			267		
伯耆町	91			10		
日吉津村						
大山町	816		1	40,367	5	
日南町	114			3,044		
日野町	4					
江府町	32					
(西部地区計)	1 175	1	1	43,700	6	2
鳥取県合計	7,495	1	5	74,237	6	2

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
滋賀						
京都						
大阪						
兵庫	1					
奈良						
和歌山	14					
島根	19			4		
岡山	37					
広島	2					
山口						
徳島						
香川						
愛媛	14					
高知						
県外合計	87	0	0	4	0	0
総計	7 582	1	5	74 241	6	2

エ 工と畜場内と殺頭数及び獣畜のと殺解体禁止又は廃棄したものの原因

区分	と畜場と殺頭数	処理	処分突頭数	疾病別頭数								計																
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核	細菌病	破傷風	放線菌病	その他		ウイルス	原虫	のら虫病	寄生虫病	その他	膿瘍	中毒諸症	炎症又は炎症性産物に	変性又は萎縮	その他						
牛	7,582	禁止	90																		90							
		全部廃棄	4,507								3						5	10	6	2	48	19			351	1,812	5,890	
		計	4,597							3						5	10	6	2	48	19			351	1,812	5,980		
とく	5	禁止																										
		全部廃棄																										
		計	3																									
馬	1	禁止																										
		全部廃棄																										
		計																										
豚	74,241	禁止																										
		全部廃棄	32	2																					7			32
		計	27,308																						7			29,564
めん羊	6	禁止																										
		全部廃棄	1																									
		計	27,340	2																								29,596
山羊	2	禁止																										
		全部廃棄	122	2																								
		計	31,819	2																								32,122
計	81,837	禁止																										
		全部廃棄	122	2																								
		計	31,941	2																								35,583

才 病類別一部廃棄頭数

区分	疾病名	豚	牛			とく	めん羊
			和牛	乳牛	計		
呼吸器系	肺炎(SEP様)	9,558					
	〃(ヘモフィルス様)	297					
	〃(その他の型)	1	57	233	290	2	
	肺膿瘍	244					
	胸膜炎	8,839	196	673	869		
	小計	18,939	253	906	1,159	2	
循環器系	心外膜炎	3,776	8	144	152		
	心筋炎		2	8	10	1	1
	小計	3,776	10	152	162	1	1
消化器系	胃炎	2	33	181	214	1	
	胃潰瘍		2	3	5		
	腸炎	3,249	47	223	270		
	腸間膜水腫	19		5	5	1	
	腸間膜脂肪壊死		170	22	192		
	腸結節虫		2	48	50		
	腸間膜抗酸菌症	844					
	腸気泡症	3					
	肝炎(膿瘍型)		61	415	476		
	〃(鋸屑肝型)		349	508	857		
	〃(胆管炎型)		18	33	51		
	〃(その他の型)	739	21	116	137		
	肝包膜炎	6,506	53	332	385		
	退色肝	1,699	9	172	181	1	
	肝硬変		5	16	21		
	肝富脈版		35	114	149		
	肝蛭症		8		8		
	寄生肝(豚回虫)	2,459					
腹膜炎	729	3	42	45			
小計	16,249	816	2,230	3,046	3		
泌尿・生殖器系	腎炎	1,086	59	231	290		
	膀胱炎	56	14	59	73		
	子宮内膜炎	18	5	61	66		
	乳房炎		1	168	169		
	小計	1,160	79	519	598		
運動器系	放線菌症		1	2	3		
	膿瘍	1,979	8	67	75		
	関節炎	81	15	231	246		
	骨折	10	3	37	40		
	脱臼	2	8	66	74		
	筋肉変性	55					
	水腫	118	27	141	168		
	褥瘡	877	2	113	115	1	
	筋出血(打撲)		487	1,308	1,795	1	
	小計	3,122	551	1,965	2,516	2	
炎症による内蔵全廃	553						
腫瘍			1	1			
黄疸			1	1			
合計	43,799	1,710	5,773	7,483	8	1	
廃棄実頭数	27,308	1,181	3,326	4,507	3	1	

カ 病畜疾病別検査頭数

病名	畜種	豚	牛			とく	合計
			和牛	乳牛	計		
全部廃棄	膿毒症	2		5	5		7
	敗血症			7	7		7
	尿毒症			4	4		4
	高度の黄疸			2	2		2
	高度の水腫		7	40	47		47
	豚丹毒						
	白血病		1	15	16		16
	筋肉変性						
小計	2		8	73	81		83
循環器系・呼吸器系	心外膜炎			1	2		2
	肺炎		6	15	21	1	22
	肺膿種						
	胸膜炎						
小計		7	16	23	1	24	
消化器系	鼓脹症			1	1		1
	弛緩症						
	四胃変位		1	31	32	1	33
	創傷性胃炎			2	2		2
	胃炎			4	4		4
	腸炎		1	10	11		11
	腸間膜脂肪壊死		6	1	7		7
	腹膜炎		2	13	15		15
	肝炎			6	6		6
	肝膿瘍		1	1	2		2
	胆管炎						
	肝硬変						
	肝蛭症						
小計		11	69	80	1	81	
泌尿器・生殖器系	腎炎			4	4		4
	膀胱炎		1	1	2		2
	尿石症		1	2	3		3
	臍ヘルニア			2	2		2
	子宮蓄膿症						
	子宮内膜炎		1		1		1
	子宮捻転			3	3		3
	子宮脱・膣脱			2	2		2
	脱肛						
	乳房炎			74	74		74
	難産						
小計		3	88	91		91	
運動器系	骨折	1	3	29	32		33
	関節炎	1	10	193	203		204
	脱臼	1	8	63	71		72
	骨軟症						
	膿瘍	1		5	5		6
	筋間出血		1	6	7		7
	筋間水腫			2	2		2
	蹄病			15	15		15
	フレグモーネ			1	1		1
	小計	4	22	314	336		340
その他	放線菌病			2	2		2
	熱射病		1	4	5		5
	産後起立不能症		3	58	61		61
	原因不明起立不能症		5	22	27	1	28
	腫瘍						
	その他		3	1	4		4
小計		12	87	99	1	100	
合計		6	63	647	710	3	719

(6) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は877頭で、検査延件数は4,593件であった。

イ 受託検査

栃鳥取県食肉センターから73件の委託を受けて細菌検査を実施した。

ウ 調査研究

と畜場内で採材した11頭の病理標本を作製し、食品衛生月間に器具や手指のふき取り検査を行い、また厚生労働省の委託を受けた厚生科学研究のチームに加わり、細菌検査を行う等、1,369件の検査を実施した。

エ TSEスクリーニング検査状況

7,595頭（牛7,587頭、めん羊6頭、山羊2頭）全頭につきTSEスクリーニング検査をおこなったが、その全てが陰性であった。

試験検査の状況

(ア) 行政検査（と畜検査に係る検査）

畜種	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
牛		514	154	2,263	214	126	2,757
豚		363	15	1,821	0	0	1,836
合計		877	169	4,084	214	126	4,593
平成21年度		699	616	3,473	161	243	4,493

(イ) 受託検査

項目	検査区分	受託件数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
ふきとり検査	牛	24		24			24
	豚	49		49			49
合計		73	0	73	0	0	73
平成21年度		75	0	75	0	0	75

(ウ) 調査研究

項目	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	その他	検査延べ件数
一般病理検査		11			53		9	62
微生物汚染防止		29		87				87
精度管理		11	2	16		8		26
厚生科学研究		30		1,123				1,123
その他		34				3	68	71
合計		115	2	1,226	53	11	77	1,369
平成21年度		822	330	2,932	94	814	0	4,170

(エ) TSEスクリーニング検査状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
分類	ア 生後24ヶ月齢以上の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経障害が疑われるもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 生後30ヶ月齢以上の牛	184	212	192	175	188	189	175	187	154	157	177	190	2,180
	ウ その他(ア及びイ以外の牛)	474	429	375	493	466	469	456	526	522	407	364	426	5,407
	エ めん羊、山羊	1	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	8
	計	659	641	567	668	654	658	633	714	677	565	542	617	7,595
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) 枝肉等の衛生度把握

と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉、食肉及び器具等の拭き取り検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

拭き取り検査結果

区分	項目	実施回数	件数	成績	<10	10 ¹ ~2	10 ² ~3	10 ³ ~4	10 ⁴ ≤
枝肉	〇157	12	36	陰性36	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 (/ cm ²)	49	733		708	23	2		
	一般細菌数 (/ cm ²)	49	733		37	170	361	158	7
食肉	大腸菌群数 (/ cm ²)	2	7		7				
	一般細菌数 (/ cm ²)	2	7		1	1	4	1	
器具等	大腸菌群数 (/ cm ²)	4	22		21		1		
	一般細菌数 (/ cm ²)	4	22		3	5	7	5	2

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間(8/1~8/31)に合わせて枝肉等の拭き取り検査を実施し、家畜の出荷者に対しては清潔な生体搬入を、食肉業者には衛生的な食肉の取扱いを呼びかけるビラを配布した。さらにと畜場入り口に垂れ幕及び立て看板を設置して来場者の衛生意識の高揚を図った。

(3) 従事者の衛生教育

と畜従事者全員を対象として、と畜場の衛生管理及び枝肉の糞便汚染防止並びに口蹄疫が食肉センターで発見された時の対応と処理について講習を行い、理解を深めた。

(4) 食品営業許可施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食肉販売業、食品の冷凍冷蔵業の食品営業許可施設については、毎月1回監視を実施し、不適事項については改善するよう指導した。

3 と畜検査データフィードバック事業

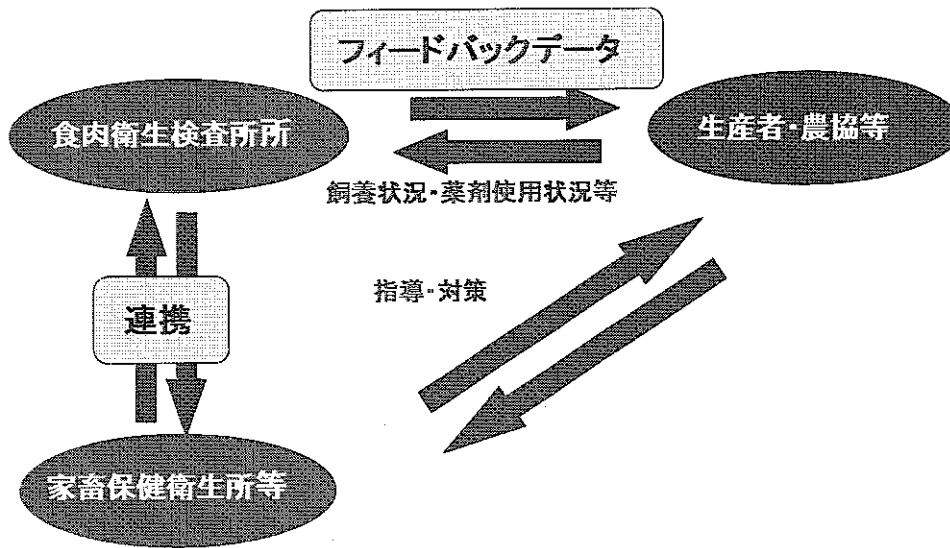
(1) 生産者等へのフィードバック

食肉の安全性確保対策の一環として、平成6年4月から検査データ・フィードバック事業を継続している。

と畜検査で得た家畜の疾病状況を1ヵ月ごとのデータとして取りまとめ、家畜保健衛生所及び生産者へフィードバックしている。

当検査所、家畜保健衛生所及び生産者が連携、協力していくことで、家畜の疾病排除、疾病予防、生産性の向上、ひいては安全な食肉の提供に寄与している。

検査データ還元フロー



フィードバック事業参加者

区分	牛	豚
家畜保健衛生所	3	3
生産者	34	27

(2) 臨床獣医師へのフィードバック

臨床獣医師から診断動物についての検査内容にかかる問い合わせが41件あり、健康な家畜の生産現場との連携を図った。

4 検体採取等の協力

依頼者	目的	検体
鳥取大学農学部獣医学科	家畜の体外受精に関する研究	豚及び牛の卵巣
	牛の妊娠至急及び胎仔の構造理解のため	牛の子宮
	牛の蹄病に関する研究	牛の後肢蹄関節
(株) 西日本JA畜産名和農場	豚病変の確認検査	豚の肺
(有) ウェストヒルズファーム	繁殖成績向上のための従業員研修	牛の子宮
鳥取県福祉保健部健康政策課	日本脳炎、感染症流行予測調査	豚の血液
(独) 家畜改良センター鳥取牧場	牛の体外受精試験	牛の卵巣
	超音波画像診断技術研修会	牛の子宮及び卵巣
鳥取県農林総合研究所畜産試験場	経膈採卵による一卵性多子生産技術の開発	牛の卵巣
(社) 家畜改良事業団 家畜バイテクセンター	牛の体外受精のための卵子採取	牛の卵巣
鳥取県倉吉農業高等学校	畜産実習(牛・豚の生殖器構造)	豚・牛の子宮及び卵巣
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精師の講習会	牛の子宮及び卵巣

5 調査、研究

豚と畜解体ラインで、より衛生的な処理が行われるよう、枝肉等の細菌汚染状況について調査し、解体ラインの各工程について指導の一助となるよう努めた。

6 食肉衛生検査所PR事業

食肉の安全安心に対する消費者等の関心の高まりとともに、食肉衛生検査所へ来所する人が増加傾向にある。平成22年度には下記の視察・研修を受け入れ、事業説明・PR等を積極的に行った。

視察・研修会の概要

月 日	来訪団体名等	研修会	受講者数
6月2日(水)	生活環境部関連新規採用職員	視察・研修	20名
6月9日(水)	鳥取大学医学部附属病院医師	医師卒後臨床研修	4名
7月7日(月)	鳥取大学医学部附属病院医師	医師卒後臨床研修	4名
9月8日(水)	鳥取大学医学部附属病院医師	医師卒後臨床研修	2名
8月30日から 9月10日	米子工業高等専門高校学生	インターンシップ研修	1名
10月21日(木)	鳥取大学農学部獣医学科 5年次学生及び担当教官	公衆衛生学実習	44名
1月13日(水)	倉吉農業高等学校生徒 及び担当教諭	就業準備出前講座 (農業教育支援事業)	16名
合 計		7回	91名